

基本目標 V

国際社会を視野に入れた男女共同参画の推進

現状と課題

昭和50年（1975年）の「国際婦人年」以来、国や県の男女共同参画社会の形成に向けた取り組みは、世界女性会議の北京宣言や女性2000年会議などの国際的な動きに連動し、様々な取り組みと密接に連動しながら進められています。

政治・経済・文化などのあらゆる分野で国際化が進む中、男女共同参画推進の必要性を広く理解してもらうためにも、国際的視野に立った女性の人材育成や国際的基準などの広報啓発が必要です。

本市には、就学就労といった理由により多くの在住外国人の方がいらっしゃいます。平成26年に行った人権に関する市民意識調査では、「外国人の人権について必要なことは」との問いに、「外国人との交流の促進」次いで、「外国人が日本の文化・生活習慣を学習できる機会を増やす。」となっていました。市内でもさまざまな機会を通じて国際化の取組が進められています。国により異なる文化や伝統、価値観に対して寛容な精神を持つことも必要となります。お互いの違いを認めあう心が生きた国際交流を進め、市民一人ひとりの個性が尊重される住みやすい社会をつくるため、身近なところから諸外国の異文化等を理解していくことが必要です。

① 広い視野を育てる 国際理解の促進

＜施策の方向性と取組＞

国際化が進んだ現代において、異文化を理解し、国際的な視点に立った男女共同参画社会の実現は不可欠です。浜田市においては、島根県立大学をはじめとした関係機関と一層の連携を深め、多文化共生社会の実現と国際性豊かな人材育成に努めます。

また、在住外国人への支援や民間国際交流団体の活動を支援するとともに、外国人と地域住民がふれあい、さまざまな社会や文化に対する理解を進めるための交流活動を推進するとともに、外国語による情報提供と相談体制を確立するなど、国際化を推進する環境整備に努めます。

| 具体的施策 | 内 容 説 明 | 担当課 |
|-----------|--|-----------------------------|
| 国際理解教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> • 幼児教育、学校教育等においては、外国語指導助手による授業や国際交流員による異文化紹介などを通して諸外国に対する理解を促し、国際的な視野を持った人材を育成します。 | 観光交流課 学校教育課 |
| 国際交流の推進 | <ul style="list-style-type: none"> • 島根県立大学及び北東アジア地域研究センターとの連携を強化するとともに、浜田国際交流協会等が中心となって行う事業の周知を行い、男女ともに国際交流機会の増加に努めます。 • 友好都市を始めとする諸外国との文化、教育、経済等の相互交流を推進し、幅広い国際交流活動に取り組みます。 • 浜田市世界こども美術館が実施する海外との交流事業などを積極的に支援します。 | 観光交流課 観光交流課 文化振興課 |

| 具体的施策 | 内 容 説 明 | 担当課 |
|---------------------|--|---|
| <p>情報提供・環境整備の支援</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 浜田国際交流協会等関係機関と連携を強化し、国際化や男女共同参画の推進に向けて市民への意識啓発を行うとともに、外国語による様々な生活上の情報提供に努める等により外国人の住みやすいまちづくりを推進します。 • 男女共同参画に関する国際的な情報の収集及び提供を行います。 • (財)しまね国際センターと連携を強化し、外国人相談窓口や通訳ボランティアの充実に努めます。 | <p>観光交流課</p> <p>人権同和教育啓発センター</p> <p>観光交流課</p> |

<代表的な数値目標>

| 代表的な目標 | 現状値 (平成26年度) | 目標値 (平成33年度) |
|----------------|-----------------|-----------------|
| 各種国際交流事業への参加者数 | 1,641人 | 2,100人 |